

第3回滋賀県がん診療連携協議会・診療支援部会 議 事 概 要

日 時：平成23年2月21日（月）午後5時30分～午後6時30分

場 所：滋賀医科大学医学部附属病院 1階 第3会議室

出席者：別紙のとおり

[審議内容]

(1) 平成22年度の取組結果及び平成23年度の取組予定について

資料1により各団体の取組について、今年度の結果が確認され、翌年度の取組予定は次の通り発言があった。

- ・ 県薬剤師会：県病院薬剤師会と会営薬局が症例検討会に参加し、情報の共有を深めている。今後も更に深めていく。
- ・ 県看護協会：情報を整理調査して人事交流。又、各病院の特色がある先進医療の治療状況や看護の共有を図っている。研修会等で人的交流を強化したい。
- ・ 県放射線技師会：放射線治療の説明文は放射線治療学会のホームページに掲載されており、うまく活用していく。遠隔画像診断の取組みは、会だけでなく全体の取組みと認識している。
- ・ 県病院薬剤師会：人事交流の一環として、会営薬局が症例検討会に参加し、薬剤の情報交換や先端医療について拠点病院薬剤師とネットワークの推進を図っている。又、今年度、教育研修部を立上げ、がん専門薬剤師委員会設立し、症例検討会等で病院間の情報の共有を目指す。

(2) 医師派遣実績調査について

他の都道府県での活動情報は、以前に紹介した大分県の例以外には見当たらなかった。

前回の部会で提案のあった医師派遣実績調査について、医師派遣は診療支援として実際に行われており、その実態を把握するため、今回作成したフォーマット（資料2）で年度末に向け滋賀医大内で平成22年度の人的交流の実績調査を行うこととする。各拠点病院に対しては、調査のフォーマット等を検討願い、意見を集約のうえ平成23年度に実施することになった。

(3) その他

地域医療再生計画案のうち、滋賀医大醍醐教授から提案の、地域がん医療人材支援開発センターや人材派遣バンクの創生、これらを展開するネットワークの構築といった診療支援体制作りが紹介された。

種々意見交換があり、これらの構築のためにはマンパワーと財源の裏付けが必要との部会総体としての見解であった。

高度医療推進に係る取り組みの具体策として、例えば医療者限定の講演会を開催し、各拠点病院の取組を出し合い、共有の場を作ることを検討してはどうかという意見が出された。

別 紙

第3回滋賀県がん診療連携協議会診療支援部会 出席者名簿

	施設・団体名	所属・職名	氏名
部会長	滋賀医科大学医学部附属病院	消化器内科診療科長 (内科学講座 教授)	藤山 佳秀
副部会長	大津赤十字病院	副院長 (第一外科部長)	土井 隆一郎
副部会長	成人病センター	消化器内科主任部長	水田 和彦
部会員	公立甲賀病院	顧問	井田 健
"	彦根市立病院	内科医長	來住 優輝
"	市立長浜病院	副院長 (泌尿器科部長)	村中 幸二
"	社団法人滋賀県医師会	草津栗東医師会 副会長	中野 悦次
"	社団法人滋賀県薬剤師会	副会長	近藤 嘉男
"	社団法人滋賀県看護協会	(滋賀医大附属病院)	服部 聖子
"	社団法人滋賀県放射線技師会	副会長 (成人病センター)	高橋 昌章
"	滋賀県健康福祉部健康推進課	参事	井下 英二
"	成人病センター	経営企画室 主査	沼波 輝
"	滋賀県病院薬剤師会	理事 (滋賀医大附属病院)	寺田 智祐
準会員	滋賀医科大学	総合がん治療学講座教授	醍醐 弥太郎
部会事務局	滋賀医科大学 医療サービス課	(事務局担当：課長補佐 今堀 道明)	

代

網掛けは、欠席者